

ゴルフ・カフェ「我・想」

お客 「マスター 先週のUSPGA。見ました・？」

マスター 「最終日 見ましたヨ タイガーとミケルソンの一騎打ち あれでしょ」


お客 「ハイ ハイ ハ〜ィ」「久々のタイガーの復活で アナも、解説サンも興奮気味」
「マスターは？ミケルソン〜」「私はタイガー 眼がいいですネ野生のタイガーの目」


マスター 「空ろな目でしたネ」「15番のパーパットを外したタイガーの目 人間を感じましたネ」


お客 「ボギーあっていいじゃないですか」「私たちに近づいたって感じのタイガー ネ」

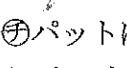
マスター 「お客さん 興奮気味 すネ〜」「ビールにしますか、それともカクテル！」

お客 「今夜も、カクテルで」「解説さんが言っていましたネ 本番と練習は「全くチガウ」て
「力、入っていましたヨ」

「ヤッぱ 本番と練習は違うんですね。私なんか本番 カラッキン  意気地なし」

マスター 「わかりますネ」「練習所では？  プロ級」

お客 「ソ」  プロ級ネ」「フックもスライスもお手のもの」ハッ ハッ は〜

マスター 「それって 問題じゃ ナイスカ？」  パットは常にストレート ヨ、

お客 「は〜 でもそれが現実」「タイガーびいきの解説さんも言っていましたヨ 別物だって」

当日放映の「アナウンサー」と「解説者」のコメントを紹介します ト、

*タイガーウッツが15番403ヤードパー4の短いパーパットを「はずす」場面から始まる。

解説サン「今日のタイガー手首が硬いですねー、車でもハンドルに遊びがあるように 柔らかさが
チヨット今日のタイガーに出ると 違うんですがねー」

アナ 「こーゆうのは普段でも練習していると思っけていても 違うんですか？」

解説サン「違うんですよ、やっぱり試合と練習は「マツタク」違うんですから」

「試合だったら、どうしてもハズシタクナイとか、「色んなことを考えて打たなきゃいけないわけですね」

「練習では、いいストロークをするように練習するんで、うまく入るんですけど」

「試合ですと、それが強く打ったら抜けちやうとか、いや、登りだから強く打たなきゃ
という いろんな動作が加わってくるんです、だから、試合と練習は違うんです」

アナ 「なるほど、やはり実戦でなくては得られないものがあるんですね」

*皆さんは、ゲーム前、パッチイング グリーン上でどの様な意識の下でパッチイングの練習を
していますか？ 解説さんと同じ「別もの」と思っていますか？？？

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
3 MARCH			1 **	2 **	3 **	百合
4 **	5 **	6 **	7 **	8 **	9 **	10 **
			百合	らうんど		百合
11 **	12 **	13 **	14 **	15 **	16 **	17 **
			百合			
18 **	19 **	20 **	21 **	22 **	23 **	24 **
			百合		らうんど	百合
25 **	26 **	27 **	28 **	29 **	30 **	31 **
		らうんど	百合			百合

春一番、私の16番ティーグラウンド上の「心の窓」には心地良く、完璧で、私はゴルフを楽しんでいました。私はフェアウェーを歩きながらスタートからここ16番まで決して良い経過ではありませんでした。ドライバーのスイング、アイアンのスイング、パッチイングのストロークと、スイング毎に修正を加え、微調整をしながら「切れかかる心」「ゆらぐ信頼」をのりこえられたのは、今、私に何が不足しているか、何が失敗の原因かがはっきり見透せるからです。それは、私達人間がスイングという動きを行うにあたって、基本動作となるスイングの要因を分析しそのメカニズムを集約した。「原則」が私を勇気づけてくれるからです。

では、その「原則」とは何かをここでご披露いたしましょう。「原則」は私達に

- ・プレーヤーの腕の「長さ」とクラブとで作られる「円弧の大きさ」そして「円弧の長さ」の望ましい姿を指摘してくれます。
- ・プレーヤーの傾斜した背骨の角度で決定される「スイング軌道」
- ・プレーヤーに最大の恩恵を与えてくれる「リリース」
- ・これらの要素をタイミングとコントロールに欠くことのできない「テコの応用」「動的なバランス」
- ・身体という最大の部分をその爆発力に生かす「スイングセンター」と「コネクション」

この9項目の「原則」である要素は、私達のスイングを創るうえで、自身のスイング行動を理解し、改善し、最善の進歩、向上に向けるチャンスが大いに増すことでしょう。そして未来、将来にあなたの希望は必ず叶えられる・・・という「魔法の呪文」となることも可能でしょう。

「4 (フォー) ルーティーンシステム」はこの原則の要素9項目を4ッにまとめた魔法の呪文です。

4ッの動きは、①右軸・バックスイング ②トップ ③左軸 ④ダウンスイング・フィニッシュ
という 4項目を個人、個人のリズム (思考の流れにとどめ) でスイングをするシステムです。

この4つの動き1ッ1ッはあなたの目で確認します、正しく行えたかどうかを確認する作業、肉眼で見ること「可視化」という作業が加わります。

スイングの可視化は、目からの情報が神経を得て脳に、脳に記憶されている4ッの正しいポジションと、今、終わったスイングはあなたの思考という流れの中に自然な残像として照合が行われ、「正誤表」として今、終ったスイングの質的な評価の対象となります。

そして、これから始まるスイングの微調節を加えるなど質的な向上は「キレかかる心」「揺らぐ信頼」とは関係のない「完璧さを求めたい」心の要求に、確実に答えてくれる唯一の友人となることでしょう。

*GAJの法則と原則はスクール入校時テキストと共にお手元に届いております。ご活用ください。

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1 **	2 **	3 **	4 **	5 **	6 **	7 **
4 APRIL			百合	らうんど		百合
8 **	9 **	10 **	11 **	12 **	13 **	14 **
	らうんど		百合			百合
15 **	16 **	17 **	18 **	19 **	20 **	21 **
			百合		らうんど	百合
22 **	23 **	24 **	25 **	26 **	27 **	28 **
		らうんど	百合			百合
29 **	30 **					